

平成24年12月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成24年11月6日

上場取引所 大

上場会社名 佐渡汽船株式会社

コード番号 9176 URL <http://www.sadokisen.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 小川 健

問合せ先責任者 (役職名) 取締役総務部長

(氏名) 臼杵 章

四半期報告書提出予定日 平成24年11月9日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

TEL 025-245-2311

(百万円未満切捨て)

1. 平成24年12月期第3四半期の連結業績(平成24年1月1日～平成24年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年12月期第3四半期	9,019	2.2	512	△3.5	481	3.7	436	25.3
23年12月期第3四半期	8,824	△4.6	531	△33.9	464	△34.6	348	△54.0

(注) 包括利益 24年12月期第3四半期 439百万円 (24.3%) 23年12月期第3四半期 353百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年12月期第3四半期	31.38	31.13
23年12月期第3四半期	25.09	24.92

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
24年12月期第3四半期	11,554	2,799	21.3
23年12月期	11,687	2,351	17.3

(参考) 自己資本 24年12月期第3四半期 2,466百万円 23年12月期 2,021百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年12月期	—	—	—	0.00	0.00
24年12月期	—	—	—	—	—
24年12月期(予想)	—	—	—	1.50	1.50

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 有

3. 平成24年12月期の連結業績予想(平成24年1月1日～平成24年12月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	11,658	0.6	404	△20.0	391	△3.6	351	24.9	25.24

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 有
- ④ 修正再表示 : 無

(注)詳細は[添付資料]3ページ「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項(3)会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご参照ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

24年12月期3Q	13,969,402 株	23年12月期	13,930,902 株
24年12月期3Q	43,557 株	23年12月期	43,557 株
24年12月期3Q	13,910,445 株	23年12月期3Q	13,887,679 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

・この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期財務諸表に対するレビュー手続を実施中ではありません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づき作成したものであり、実際の業績は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

また、業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、[添付資料]3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想に関する定性的情報」をご参照ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
(4) 追加情報	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 継続企業の前提に関する注記	8
(4) セグメント情報等	8
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	9
(6) 重要な後発事象	9

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、震災復興に伴う公共投資等の増加や、エコカー購入支援策等の政府政策効果を背景に回復傾向も見られましたが、新興国における経済成長率の低下や欧州債務危機等に加え、日中関係の悪化などの影響により、依然として先行き不透明な状況で推移しました。

当社グループにおきましては、当第3四半期連結累計期間は年初では天候不順による輸送量の減少が見られましたが、その後は前年の東日本大震災による減少の反動があったことに加え、4月以降は自然界に放鳥されたトキのヒナ誕生等の明るい話題があったこともあり、観光客については前年同期から増加しました。特に旅行会社による企画ツアー実施が震災以前の水準に回復しつつあることによる団体客の増加が顕著でありました。

一方、前年に佐渡島内で行われていた総合病院の新築工事に伴う大幅な資材輸送増加の反動に加え、佐渡産米の輸送方法が変更されたことから、特に貨物輸送量は前年同期から大幅に減少しました。

当第3四半期連結累計期間の売上高は9,019,498千円（前年同期比2.2%増）、営業利益は512,449千円（前年同期比3.5%減）、経常利益は481,970千円（前年同期比3.7%増）、四半期純利益は436,517千円（前年同期25.3%増）となりました。

セグメントの業績は以下のとおりであります。なお、当社グループの売上高は事業の性質上、第3四半期に著しく増加する傾向にあり、季節的変動が顕著であります。

#### ①海運

当第3四半期連結累計期間の旅客輸送人員は1,337,028人（前年同期比4.8%増）、自動車航送台数は乗用車換算で181,465台（前年同期比2.3%減）、貨物輸送トン数は81,371トン（前年同期比16.3%減）となりました。

当社では原油価格の高値推移による船舶燃料費の増加に対応するため、燃料油価格変動調整金を7月～9月期においては2ゾーンから3ゾーンに引き上げました（前年7月～9月期は2ゾーン）。

輸送実績は、旅客部門では震災の影響が回復しつつあることで観光客が増加しました。特に旅行会社の企画ツアーによる団体客の増加が顕著でありました。自動車航送及び貨物部門においては、前年に佐渡島内で行われていた総合病院新築工事に伴う資材輸送等による大幅な増加の反動に加え、佐渡産米の輸送方法が変更されたことにより前年同期を下回りました。

当第3四半期連結累計期間の売上高は6,121,262千円（前年同期比6.0%増）、セグメント利益（営業利益）は480,086千円（前年同期比10.9%増）となりました。

#### ②一般貨物自動車運送

本年より佐渡産米の輸送方法が変更されたことや、郵便輸送の減少に加え、前年、佐渡島内において行われていた総合病院新築工事に伴う資材輸送に代わる輸送がなかったことから売上高は減少しました。

当第3四半期連結累計期間の売上高は1,212,067千円（前年同期比6.1%減）、セグメント損失（営業損失）は47,795千円（前年同期は2,068千円のセグメント損失（営業損失））となりました。

#### ③売店・飲食

前年は東日本大震災の影響により観光客が減少していましたが、本年はこの反動により観光客が増加したため、売店・食堂部門の売上高が増加したことに加え、積極的にイベント等への拡販に努めたことにより、売上高は増加しました。

当第3四半期連結累計期間の売上高は952,081千円（前年同期比4.5%増）、セグメント利益（営業利益）は24,570千円（前年同期比30.5%増）となりました。

#### ④観光

前年の東日本大震災による影響から回復傾向にあるものの、夏以降の個人客の取り扱いが伸びず、8、9月は売り上げが減少したこと、前連結会計年度は観光施設部門に計上されていた(株)佐渡歴史伝説館の売上高が当第3四半期連結累計期間は無いことから売上高は減少しました。

当第3四半期連結累計期間の売上高は617,492千円（前年同期比15.7%減）、セグメント利益（営業利益）は22,836千円（前年同期6.7%増）となりました。

#### ⑤その他

不動産賃貸業においては、当第3四半期連結累計期間は(株)佐渡歴史伝説館の業績が増えたことにより売上高が増加しましたが、建物サービス業において清掃業務受注の減少により売上高は減少しました。また、費用面で建物サービス業において設備保守点検の業務委託料が大幅に増加したため営業利益は減少しました。

当第3四半期連結累計期間の売上高は116,596千円（前年同期比1.3%減）、セグメント利益（営業利益）は4,512千円（前年同期比60.0%減）となりました。

## (2) 連結財政状態に関する定性的情報

当第3四半期連結会計期間末の資産合計は、前連結会計年度末に比べ132,806千円減少し11,554,507千円となりました。

流動資産は前連結会計年度末に比べ194,712千円減少し3,473,292千円となりました。これは、受取手形及び売掛金が168,739千円増加したものの、借入金の返済進行や設備投資の増加等により現金及び預金が331,841千円減少したこと等が主な要因であります。

固定資産は前連結会計年度末に比べ58,299千円増加し8,077,608千円となりました。これは、償却の進行により有形固定資産が64,594千円減少したものの、当社において基幹システムの更新を行ったこと等により無形固定資産が57,459千円増加したことや、投資その他の資産が65,434千円増加したこと等が主な要因であります。

当第3四半期連結会計期間末の負債合計は、前連結会計年度末に比べ580,499千円減少し8,755,082千円となりました。

流動負債は前連結会計年度末に比べ127,282千円増加し3,741,210千円となりました。これは、短期借入金が365,000千円減少したものの、1年内返済予定の長期借入金が345,019千円、賞与引当金が103,212千円、未払法人税等が39,804千円増加したことが主な要因であります。

固定負債は前連結会計年度末に比べ707,781千円減少し5,013,872千円となりました。これは、当社において社債の発行が250,000千円あったものの、長期借入金が964,414千円減少したこと等が主な要因であります。

当第3四半期連結会計期間末の純資産合計は、前連結会計年度末に比べ447,693千円増加し2,799,425千円となりました。これは、四半期純利益436,517千円を計上したことが主な要因であります。

## (3) 連結業績予想に関する定性的情報

平成24年2月17日に公表いたしました業績予想(連結・個別)を平成24年11月6日に修正しております。

修正理由等につきましては、平成24年11月6日付「平成24年12月期通期(連結・個別)の業績予想及び期末配当予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

## 2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

## (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

## (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

## (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(1株当たり当期純利益に関する会計基準等の変更)

第1四半期連結会計期間より「1株当たり当期純利益に関する会計基準」(企業会計基準第2号 平成22年6月30日)及び「1株当たり当期純利益に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第4号 平成22年6月30日)を適用しております。

潜在株式調整後1株当たり四半期純利益の算定にあたり、一定期間の勤務後に権利が確定するストック・オプションについて、権利の行使により払い込まれると仮定した場合の入金額に、ストック・オプションの公正な評価額のうち、将来企業が提供されるサービスに係る分を含める方法に変更しております。

これらの会計基準等を適用しなかった場合の、前第3四半期連結累計期間の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額は24円86銭であります。

(減価償却方法の変更)

一部の連結子会社は、法人税法の改正に伴い、第2四半期連結会計期間より、平成24年4月1日以後に取得した有形固定資産について、改正後の法人税法に基づく減価償却方法に変更しております。

この変更による当第3四半期連結累計期間の損益に与える影響は軽微であります。

## (4) 追加情報

(会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準等の適用)

第1四半期連結会計期間の期首以後に行われる会計上の変更及び過去の誤謬の訂正より、「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準」(企業会計基準第24号 平成21年12月4日)及び「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第24号 平成21年12月4日)を適用しております。

3. 四半期連結財務諸表  
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成23年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成24年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	2,148,754	1,816,913
受取手形及び売掛金	639,183	807,922
たな卸資産	632,243	610,222
繰延税金資産	91,859	93,777
その他	158,559	147,993
貸倒引当金	△2,594	△3,535
流動資産合計	3,668,004	3,473,292
固定資産		
有形固定資産		
船舶(純額)	1,255,055	1,175,006
建物(純額)	3,409,147	3,319,142
土地	1,913,289	1,913,289
その他(純額)	755,862	861,322
有形固定資産合計	7,333,353	7,268,759
無形固定資産		
のれん	81,258	48,592
その他	219,205	309,330
無形固定資産合計	300,463	357,922
投資その他の資産		
投資有価証券	156,800	185,987
長期前払費用	172,739	207,039
繰延税金資産	547	479
その他	55,488	57,476
貸倒引当金	△80	△54
投資その他の資産合計	385,493	450,927
固定資産合計	8,019,309	8,077,608
繰延資産		
社債発行費	—	3,607
繰延資産合計	—	3,607
資産合計	11,687,313	11,554,507

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成23年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成24年9月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	354,950	330,391
短期借入金	611,000	246,000
1年内返済予定の長期借入金	1,946,432	2,291,451
未払法人税等	21,578	61,382
賞与引当金	40,364	143,576
その他	639,604	668,410
流動負債合計	3,613,928	3,741,210
固定負債		
社債	—	250,000
長期借入金	4,638,124	3,673,710
退職給付引当金	650,637	713,441
役員退職慰労引当金	25,072	32,197
特別修繕引当金	84,459	119,038
負ののれん	35,864	21,037
資産除去債務	35,459	35,872
その他	252,037	168,577
固定負債合計	5,721,653	5,013,872
負債合計	9,335,581	8,755,082
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	801,103	805,797
資本剰余金	638,959	643,654
利益剰余金	617,061	1,053,578
自己株式	△46,526	△46,526
株主資本合計	2,010,598	2,456,505
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	10,884	9,728
その他の包括利益累計額合計	10,884	9,728
新株予約権	26,978	27,782
少数株主持分	303,271	305,410
純資産合計	2,351,732	2,799,425
負債純資産合計	11,687,313	11,554,507

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
(四半期連結損益計算書)  
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成23年1月1日 至平成23年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成24年1月1日 至平成24年9月30日)
売上高	8,824,829	9,019,498
売上原価	7,534,557	7,773,608
売上総利益	1,290,272	1,245,890
販売費及び一般管理費	758,981	733,441
営業利益	531,291	512,449
営業外収益		
固定資産賃貸料	57,670	56,794
受取利息	322	423
受取配当金	3,680	55,937
その他	61,455	52,961
営業外収益合計	123,127	166,115
営業外費用		
支払利息	160,061	138,880
固定資産賃貸費用	18,812	23,294
その他	10,772	34,420
営業外費用合計	189,645	196,594
経常利益	464,773	481,970
特別利益		
前期損益修正益	208	—
固定資産売却益	32,334	8,706
過年度消費税還付金	23,256	—
受取保険金	13,158	—
その他	3,325	1,789
特別利益合計	72,281	10,495
特別損失		
固定資産売却損	195	961
固定資産除却損	5,644	1,641
減損損失	15,724	—
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	24,929	—
その他	6,050	19
特別損失合計	52,542	2,621
税金等調整前四半期純利益	484,512	489,844
法人税、住民税及び事業税	78,013	67,662
法人税等調整額	50,854	△18,893
法人税等合計	128,867	48,769
少数株主損益調整前四半期純利益	355,645	441,075
少数株主利益	7,249	4,558
四半期純利益	348,396	436,517

(四半期連結包括利益計算書)  
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成23年1月1日 至平成23年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成24年1月1日 至平成24年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	355,645	441,075
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△1,722	△1,104
その他の包括利益合計	△1,722	△1,104
四半期包括利益	353,923	439,971
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	346,860	435,361
少数株主に係る四半期包括利益	7,063	4,610

## (3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

## (4) セグメント情報等

## I 前第3四半期連結累計期間(自平成23年1月1日至平成23年9月30日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント					その他 (注)	合計
	海運	一般貨物 自動車運送	売店・飲食	観光	計		
売上高							
外部顧客への売上高	5,772,154	1,291,468	910,844	732,224	8,706,690	118,139	8,824,829
セグメント間の内部売上高 又は振替高	190,655	266,960	14,768	522,428	994,811	125,250	1,120,061
計	5,962,809	1,558,428	925,612	1,254,652	9,701,501	243,389	9,944,890
セグメント利益又は損失(△)	432,974	△2,068	18,827	21,412	471,145	11,291	482,436

(注) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、建物サービス事業及び不動産賃貸事業を含んでおります。

## 2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	471,145
「その他」の区分の利益	11,291
セグメント間取引消去	48,855
四半期連結損益計算書の営業利益	531,291

## 3. 報告セグメントの変更等に関する事項

報告セグメント「観光」の株式会社佐渡歴史伝説館は、当連結会計年度より新たに不動産賃貸事業を行っており、今後は不動産賃貸事業が同社の主たる事業となると認められるため、当第3四半期連結会計期間において同社の不動産賃貸事業にかかる部分については「その他」に計上しております。

## II 当第3四半期連結累計期間(自平成24年1月1日至平成24年9月30日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント					その他 (注)	合計
	海運	一般貨物 自動車運送	売店・飲食	観光	計		
売上高							
外部顧客への売上高	6,121,262	1,212,067	952,081	617,492	8,902,902	116,596	9,019,498
セグメント間の内部売上高 又は振替高	9,413	239,642	19,024	391,518	659,597	141,534	801,131
計	6,130,675	1,451,709	971,105	1,009,010	9,562,499	258,130	9,820,629
セグメント利益又は損失(△)	480,086	△47,795	24,570	22,836	479,697	4,512	484,209

(注) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、建物サービス事業及び不動産賃貸事業を含んでおります。

## 2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	479,697
「その他」の区分の利益	4,512
セグメント間取引消去	28,240
四半期連結損益計算書の営業利益	512,449

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記  
該当事項はありません。

(6) 重要な後発事象  
該当事項はありません。